＜主要施策＞観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり
基本的方向(１)世界市場に向けた新たな観光コンテンツの創出・拡充と稼ぐ力の向上

国土交通省

○北海道の資源・特性を活かした新たな観光コンテンツの創出・拡充

・「かわたびほっかいどう」等の生産空間の魅力的な公共空間を活用した観光コンテンツ創出



・食・文化やインフラツーリズム等による通年型観光コンテンツ創出

北海道開発局のインフラツーリズムの取組

北海道開発局では、当局が行う事業や各種施設の重要性等について、より多くの方々に知っていただくとともに、公共施設（インフラ）を地域の観光資源として活用いただくことにより、地域の活性化に資することを目的に「インフラツーリズム」に取り組んでいます。





ツアー向け見学枠の公開（H25～）

○北海道開発局が見学の受入を公表している公共施設を対象として、施設見学を組み込んだツアーを旅行会社等が企画・催行する取組。



新桂沢ダムに関する開発局職員による説明

地域共創インフラツアー（R1～）

○北海道開発局の各開発建設部が地域と調整し、公共施設と様々な地域資源を組み合わせて、地域の発展のストーリー等の理解促進に資するメニューの概要を示して、催行可能な旅行会社等を募集し、旅行会社等が企画・催行する取組。



村営軌道に関する学芸員による説明

地域主体のインフラツーリズムへの支援

地域が主体となってインフラツーリズムを進める際に、北海道開発局・各開発建設部が協力をしています。

これまで、室蘭白鳥大橋の活用に向けた取組に対する支援、夕張シューパロダムにおける地域と連携したガイドマニュアルの作成などを行っています。



民間事業者による主塔登頂クルーズ



夕張シューパロダムツアー造成意見交換会

○観光消費額・観光消費額単価の向上に資する高付加価値な観光の推進

・世界水準のサイクルツーリズム等による高付加価値旅行者の誘客

ルートの登録状況



魅力的な北海道の観光資源を活かし、サイクルルートを舞台としたフォトコンテストを開催



セコマグループとの連携協力協定に基づきサイクルルート沿いの店舗を中心にサイクルラックを設置



＜主要施策＞観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり
基本的方向（２）多様な旅行者の地方部への誘客に向けた安全・安心な受入環境整備

国土交通省

○ゲートウェイ機能の強化と地方部への交通アクセスの改善

・空港・港湾の受入機能強化、高規格道路の整備、交通結節機能強化等とともに運輸事業者や観光事業者が一体となった移動の利便性向上
・速達性の更なる向上による移動時間の短縮、安全・安心な移動環境整備等

○港湾施設設備等によるクルーズ船の寄港促進

・小樽港及び室蘭港におけるクルーズ船に対応した港湾施設の整備を推進します。
・各地で国際クルーズの再開が進む中、北海道においても2024年には131回※の寄港が予定されています。引き続き、ハード・ソフト一体となったクルーズ船の受入環境整備を進めます。

※北海道開発局調べ（令和6年11月時点）



小樽港第3ふ頭クルーズ船岸壁完成
（令和6年4月）

○高規格道路の延伸による観光地へのアクセス改善

・道内拠点都市や港湾・空港と観光地間のネットワーク強化、及び地方部への周遊性強化を図るため、高規格道路ネットワークの構築を推進します。

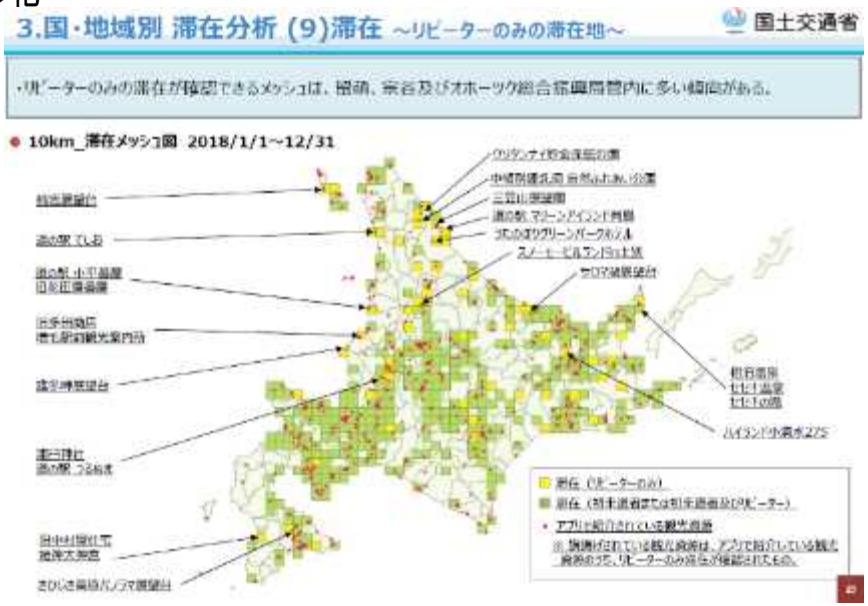


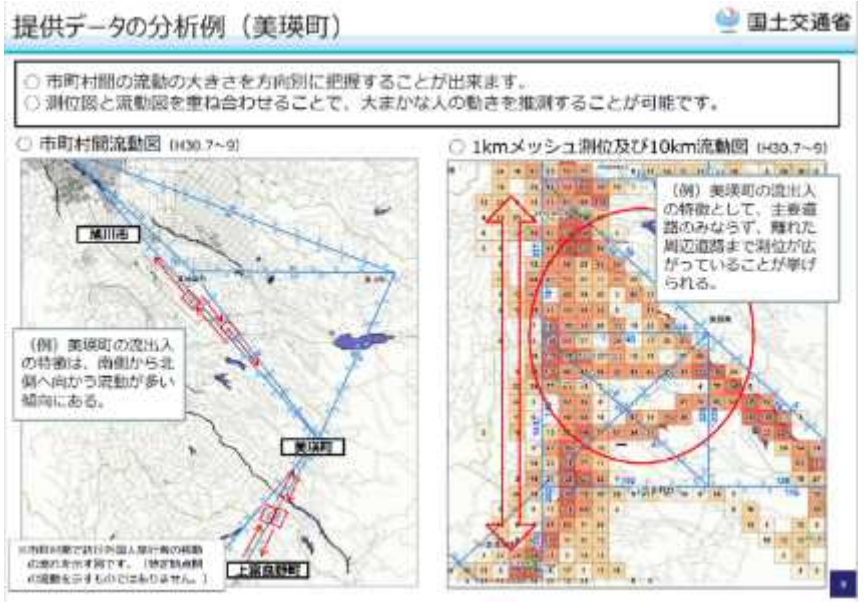


函館・江差自動車道　北斗茂辺地IC～木古内IC
（令和4年3月26日　開通）

○観光におけるデジタルの実装

・ドライブ観光動態データの分析・活用等の観光客受入体制のデジタル化





＜主要施策＞観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり
基本的方向（３）自然環境・文化の保全と観光が両立した持続可能な観光地域づくり

国土交通省

○サステナブルツーリズムの推進

・環境に配慮したドライブ観光の推進



○観光を支える担い手の育成・確保

・地域コミュニティの担い手の活動をコーディネートする人材の確保

運輸局、北海道、観光機構と連携した「観光地域づくり・マーケティング研修」を通じた、観光地域づくり人材育成を令和元年以降実施。



○多様な主体との連携による地域資源を活用した持続可能な観光地域づくりの推進

・「シーニックバイウェイ『秀逸な道』」や「みなとオアシス」等の自然環境・文化や景観と観光が両立した地域との協働による観光地域づくり

○道内各地に「訪れたい」「周遊したい」をつくるための情報発信例

ホームページの開設、道の駅等でのポスター提示、札幌圏・首都圏でのイベントにおけるPR、多様な主体と連携した取組など誘客に向けた情報発信を実施



ポスター



首都圏でのイベント
（北海道まるごとフェアinサンシャインシティ）


多様な主体との連携
（北海道日本ハムファイターズ）


「秀逸な道」を走るおすすめドライブプランをホームページに掲載


大型ディスプレイにおける動画映像放映
（北2条広場メディア広場）

○「みなとオアシス」の活用を通じた賑わいの創出
（みなとオアシス江差の事例）

・みなとオアシス江差では、構成施設であるかもめ島において、海辺のグランピング＋海洋体験を『グランピング』と定義して海の資源を活用した観光振興の取組を実施し、地域の食材提供によるBBQやSUP体験等、海の資源を活かした持続的な観光地域づくりを促進することにより、「みなと」を核とした賑わいを創出。


日本海を一望するドーム型テント「マリンピングテント」での宿泊